



『**ファイト!**』を振り返って・・・

<みんなの感想より>

- 私はよく人の意見に流されたり、他人の考えに惑わされたりして自分自身の思いや考えを見失うことがある。この歌詞を読んで、それでも自分の思うことを一生懸命がんばろうと思いました。(1組女子)
- 楽な道ばかりたどっている気がすると思った。苦労した方がなにか正解がみれてきそう。やれるだけのことはやろうと思う。(1組女子)
- 「私の敵は私です。」に共感した。自分もやってしまった事があるから、自分の敵が自分にならないようにしたい。(1組女子)
- どんな生き方、道を進んでいても、いつも強く負けないようにしっかり自分を見てやっていく。(1組男子)
- 理不尽だと思うことがあっても、「ファイト!」闘い続けようと思いました。(1組男子)
- 闘うことは恥ずかしいことじゃないと思った。胸はってがんばれるのがかっこいい。(2組女子)
- 願うものがあっても叶えられない人が一人でもいる限り、私達は頑張ることができる人のうちの一人として人生を“ムダ”にしてはいけないと思いました。(2組女子)
- 自分の生き方を見つけていきたいと思った。(2組男子)
- 目標に向かい努力できる人になれたらいいなと思った。(2組男子)
- 〇〇だからなど勝手なことを理由につけて、自分がしたいことができなくなったりすることは本当に間違っていることだと思う。(3組女子)
- 全員が自分を認めてくれることは難しい。自分がどんな状況で、どれだけ努力するかによってその先が変わってくると思った。自分に自信をもって過ごしたいと思った。(3組女子)
- しんどいのは自分だけじゃない。(3組女子)
- 自分の夢に向かってがんばりたいと思いました。(4組女子)
- 今日の授業で、もっと受験とか、これから先、前向きにいこうと思う。(4組女子)
- これからの人生の中にたくさんの試練があると思うけど、それにぶつかっていけるそんな強さがほしいと思った。(4組女子)
- 人はより成長できると思いました。(4組男子)
- 中卒とか、そういうことだけで人を見るのをちがうと思った。中卒でもしっかりできる人もいれば、高卒でもだめな人もいるだろうし。(4組男子)
- 進路で今すごく悩んでいて、この道徳があってよかったと思った。(5組女子)
- 生きるのは難しいこと、けどあきらめるのはだめだと思った。(5組女子)
- 不平不満を言って過ごす毎日だけど、ほんとうにしょもないことをつぶやいているんだなあとかバカバカしくなりました。(5組女子)
- 何かをあきらめても、自分のたった一つの目標だけは頑張っていきたいと思った。(5組男子)
- もう諦めようかな、と思っていたことも、まだがんばろうかな、と思いました。(6組女子)
- 何も頑張っていない人は、偉そうなことは言えない。(6組女子)
- 努力したらその分、何かがかえってくるはずだから。(6組女子)
- 毎日を勇気を持って生活したいと思う。(6組男子)
- 世の中は理不尽な事をたくさんあるけど、それでも諦めずにがんばっていきたいと思う。(6組男子)

あるリスナーから届いた手紙。今の世の中や、君たちの環境ではなかなか想像がつかない中卒で就職をした女の子。職場での差別的な発言が彼女の心を傷付ける。愚痴も言いたいが、それも言えずに気持ちを葉書に託した。年齢や学歴だけで人を判断する。そんな理不尽な社会(職場)で強い意志をもって生きる彼女。そんな彼女に、中島みゆきさんは応援歌を贈りました。今の君たち(受験生)にエールです。

“ファイト! 闘う君の歌を 闘わない奴等が笑うだろう ファイト! 冷たい水の中を ふるえながらのぼってゆけ”